

題材の目標

- (1) 色の仕組みを理解し、技法の効果的な使い方を理解し鑑賞を行うことができる。
- (2) 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わうことができる。
- (3) お互いの意見を交換し合い、作者の心情や意図と表現の工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

【準備等】 ワークシート、タブレット端末、筆記用具

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 小学校の図画工作科での学習内容を確認するとともに、1学期の学習内容を知り、学習計画を立てる。</p> <p>★作品を見て感じたことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期の制作や鑑賞の計画とその内容を知り、関心をもったことをワークシートに記入する。 ○ 教科書の参考作品を鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ p2～4「グランド・ジャット島の日曜日の午後」 ジョルジュ・スーラ ○ ジョルジュ・スーラについて知る。 ○ 全体作品と原寸大の部分作品を見て、人物の見え方について気が付いたことをワークシートに記入する。 ○ 全体作品を見てどんなシーンなのかといった問いを各自考え、グループの仲間と意見交換をしてワークシートに記入する。 ○ 感想をワークシートに記入したり、発表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習内容を想起させる。 ・ 教科書裏表紙の2次元コードを読み取り、ジョルジュ・スーラの描き方や色の仕組みによる色彩の変化するさま、画家の表現意図を理解させる。 ・ ジョルジュ・スーラの描き方や色彩の組み合わせに着目させ、作品から受けた印象を記入させる。 【評】 色の仕組みを理解し、技法の効果的な使い方をワークシートに記入する活動を通して「知識・技能」を評価する。 ・ 登場人物がそれぞれ何をしているかや、色の三属性をきっかけに、問いを考えさせる。 【評】 作者の心情や意図、表現の工夫など感じとったお互いの意見を発表する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 他の人の意見を聞いて、改めて気が付いたことや考えたことを記入させる。 【評】 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって記入する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

美術の授業に意欲的に取り組もうとする気持ちをもたせることが、オリエンテーションのねらいである。また中学校最初の授業ということで、以下の点についても指導したい。

- ・ 美術室の施設や設備の扱い方
- ・ 授業を進める上での約束事
- ・ 制作した作品を大切に扱うことなど

教科書の作品例や参考作品の鑑賞を行うにあたり、2次元コードを読み取ることで構図や色彩、描き方の効果を感じ取らせたり、画家の生き方に触れさせたりして主体的に表現活動を行う意欲を喚起したい。

ジョルジュ・スーラの作品を鑑賞し、感想を話し合う活動を通して、作者や作品に対しての見方や感じ方を広げる鑑賞活動を深めさせたい。

生徒は作品を鑑賞するときに「上手か下手か」といった技能面を重視しがちであるが、「自分らしく表現できているか」という観点も重要であることに気付かせたい。また、制作過程を大切にすることで、学習を深めようとする意欲や態度が重要であることを理解させたい。